

記者発表資料
平成23年5月26日
宮城県土木部港湾課
担当：橋浦、福田
電話：022-211-3210・3212

東日本大震災 仙台塩釜港における震災後初の外航船入港について

仙台塩釜港（仙台港区）においては、大気・海水の放射能等を測定（5月18日）したところ、安全であることが確認されたところですが、地震発生後初めて、5月27日（金）に外航船が入港することとなりました。

海外からの輸入ルートが再開されることで、仙台塩釜港の安全性について広く周知されるとともに、企業の生産活動の回復が期待されます。

1 入港船舶

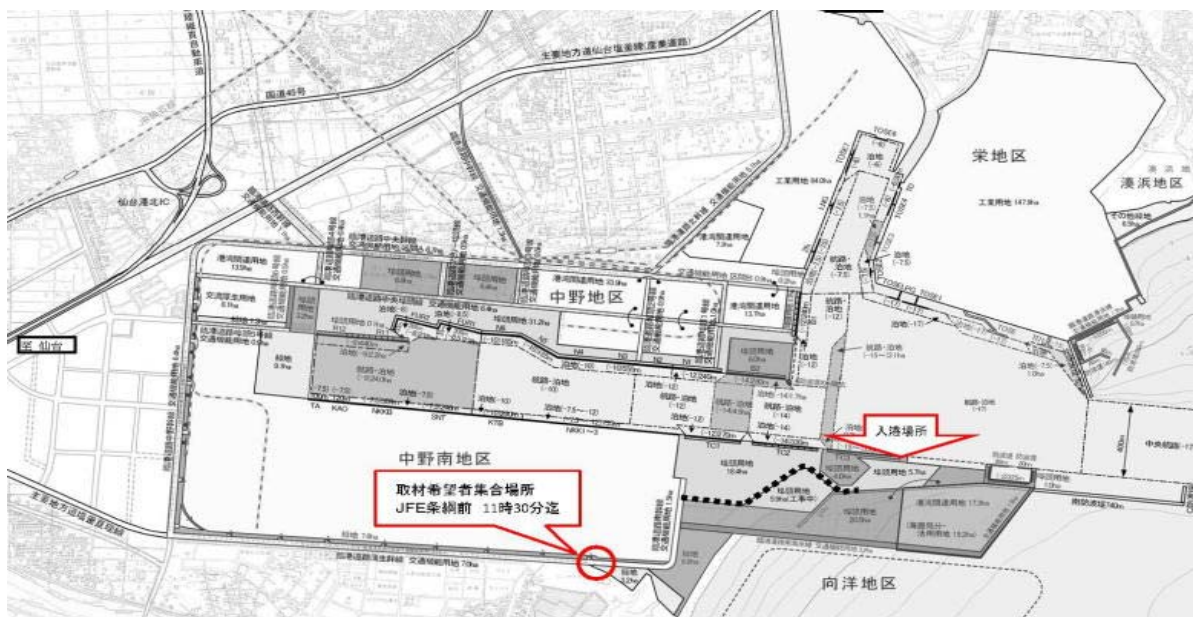
- 船名：「GLOBAL SPLENDOUR（グローバル スプレnder）」
- 船籍：パナマ
- 船長：189.99m
- 総トン数：30,002トン
- 船舶代理店：三陸運輸株式会社

2 積載貨物（現時点での情報）

- 石炭 10,000トン

3 入港日時・岸壁

- 日時：平成23年5月27日（金）正午入港予定
※日時は変更になる場合があります。
- 岸壁：仙台塩釜港（仙台港区）向洋ふ頭岸壁



※向洋ふ頭は保安対策上、立入制限区域となっておりますので、取材される方は、当日（27日）11時30分までに、上記の案内図の集合場所にお集まりいただきますよう、ご協力をお願いします。